

<卒業研究題目>

<副題>

<主専攻> <学籍番号> <著者氏名>

指導教員：<指導教員氏名・職名>

社会工学類卒業研究梗概テンプレート

制作：多賀重敬（社会経済システム主専攻・第42期卒見込）

v2.0.0 — 2021/12/13

1 このテンプレートについて — About

筑波大学社会工学類卒業研究梗概集原稿の書式を満たす文書様式を提供します（令和3年度準拠）。

- 必須項目
 - 用紙サイズ：A4 / ページ番号：禁止
 - 題目：18pt、ゴシック体 / 副題（任意）、学籍番号、氏名、主専攻名、指導教員名：9pt、ゴシック体
 - 目安・変更可能項目
 - 上下余白：20mm / 左右余白：16mm
 - 節・図表見出し：9pt、ゴシック体 / 本文：9pt、明朝体
- 原稿ソースファイルとして提出する際にはファイル名の「xxxxxxx」をご自身の学籍番号に書き換えてください。
- なお、このテンプレートは非公式に制作・配布されるものであり、使用により発生した問題等について制作者は一切の責任を負いかねます。MIT ライセンスを採用していますので、後述の URL から参照の上、予めご了承ください。

2 動作要件 — Requirements

jlreq クラスを利用しており、動作するエンジン（処理系）は p_LA_TE_X / up_LA_TE_X / Lua_LA_TE_X の3つです。動作は公開時点における最新の T_EX Live 環境で確認していますが、正常な動作を保証するものではありません。

3 使用方法 — Usage

3.1 jlreq クラスとオプション

必須の設定と自由に変更可能な設定を区別するため、オプションを2段階に分けて入力しています。

- `\PassOptionsToClass{<オプション>}{jlreq}`：
目安・変更可能なオプションはここに記入してあります。適宜、書き換えたり追加したりしてください。
- `\documentclass[<オプション>]{jlreq}`：
強制的に指定するオプションがここに記入してあります。こちらは書き換えしないでください。

各 jlreq クラスオプションの扱いは以下の通りです。

3.1.1 強制的に指定する jlreq クラスオプション

`paper=a4 / article / oneside / twocolumn / notitlepage`

3.1.2 変更・追加可能な jlreq クラスオプション

`platex / uplatex / lualatex / draft / final / fleqn / leqno / disablejfam / hanging_punctuation / use_reverse_pagination / open_bracket_pos / baselineskip / linegap / headfoot_sidemargin / sidenote_length / jlreq_notes / fontsize / jafontsize / jafontscale / line_length / number_of_lines / gutter / fore-edge / head_space / foot_space`

3.1.3 入力しても無視される jlreq クラスオプション

`report / book / twoside / onecolumn / titlepage / openright / openany`

3.1.4 入力するとエラーになる jlreq クラスオプション

`tate / landscape`

それぞれの機能については jlreq クラスの説明文書を参照してください。

3.2 設定部分

ハイフンを並べたコメント行で挟まれてインデントされている部分では必須のレイアウトなどについての設定を行っています。最後の `\ModifyHeading` 以外は原則として触らないでください。

`\ModifyHeading` は節見出しのスタイルの変更を行っています。節・小節・小々節を全て `\normalsize`（本文フォントサイズ）にするほか、見た目を整えるためにいくつか変更を加えています。これらの節見出しのスタイルの変更は作成要領で目安として示されるものです。適宜、変更しても構いません。節見出しの設定項目の詳細については jlreq 説明文書の 7.2 節を参照してください。なお、パラグラフ・サブパラグラフ・図表見出しは元から `\normalsize` で表示されるため特に手を加えていません。

また、ヘッダやフッタを操作してページ番号の表示などを行う `\pagestyle` / `\thispagestyle` を無効化します。

3.3 プリアンブル

設定部分より下は通常のプリアンブルとして、パッケージの読み込みやマクロの定義に使うことができます。

3.4 題目などの入力

`\titleitems` の 6 つの引数に、順に「論文題目」、「副題」、「主専攻」、「学籍番号」、「氏名」、「指導教員名・職名」を以下の例のように記入してください。副題が無い場合は第 2 引数を `{}` のままにしてください。題目が長い場合は強制改行 `\\` で改行も可能ですが、`\par` や空行は入れられません。

```
\titleitems{社会工学類卒業研究梗概テンプレートの開発}
           {\LaTeX}を用いた執筆をより簡便にするソリューション}
           {社会経済システム主専攻}
           {20xxxxxxx}
           {筑波\quad社子}
           {蝶式\quad強威\quad教授}
```

3.5 本文

`\begin{document}` から `\end{document}` の間に本文を書きます。論文題目などは `\begin{document}` で自動的に入力されます。`\maketitle` は本文中では無効化されています。もし、1 ページ目のだけ上側の余白を変更したい場合は、題目の入力の最初に縦方向の空白を挿入するコマンドを記述することができます。

3.6 最終ページについて

このページのように最終ページの各段の行数を揃えるには `\usepackage[balance]{nidanfloat}` が有効です。

その他の設定や詳細については `jlreq` の説明文書をご覧ください。Lua \LaTeX をお使いの方は Lua \TeX -ja パッケージの説明文書もご覧ください。

4 ライセンス — License

この文書クラスは MIT ライセンスの下で配布します。ライセンスの全文は以下の URL から参照してください。

<https://github.com/tagacchy/cppsthesis/blob/main/LICENSE>

5 更新履歴 — History

- 2021/12/11 (v.1.0.0) : 初版 (令和 3 年度準拠)
- 2021/12/13 (v.2.0.0) : 全面的に再構成